

KTK

NO.107

後援会費郵便振替口座
01070-7-32145
あらぐさ後援会

あらぐさ通信

編集 あらぐさ後援会
編集協力 社会福祉法人あらぐさ福祉会
〒617-0813 京都府長岡京市井ノ内広海道42-3
TEL 075-953-9212 FAX 075-953-9215

食品加工 — 梅干し作り —



デイセンターあらぐさ2では、毎年恒例の梅干し作りに取り組みました。今年には14kgの梅を仕込みました。6月下旬に梅を丁寧に拭いてかめで塩漬けをし、7月にはそのかめにシソも加えました。そして、8月に塩漬けした梅とシソを3日間天日干して、かめに戻し、現在味を馴染ませているところです。

梅干し作りに参加した利用者さんは「良い匂いがするなあ〜」と梅の香りを楽しみながら、慣れた手つきで作業されていました。10月に梅干しが完成するのを楽しみに待ちたいと思います。

本年度の第9回「みんなおいでよ〜あらぐさひろば」は中止です (関連記事6頁)

新型コロナウイルス対策の日々の中で

あらぐさの 生活・活動

春、夏が過ぎ、秋となり、いまだに終息の気配が見えないコロナ禍です。障害福祉センターあらぐさ、ケアホームいろいろ、ケアホームかざぐるまでは、ご家族や職員さんの日々の配慮、工夫によって安心安全の日常生活づくりに奮闘されています。職員さんたちに、配慮、工夫、活動や生活の様子をお聞きしました。(8月)



障害福祉センターあらぐさ は

利用者さん60人、常勤・非常勤職員57人
総勢117人が、毎日、活動しています。

デイ1、デイ2、ワークという3つの大きな集団があり、さらに小グループに分かれて、様々な活動を繰り広げています。

コロナ感染防止対策と、工夫をしながらの元気な日々の姿をご紹介します。

コロナ対策・必須～工夫

- その① 体調把握、検温、消毒、定時換気、職員はマスク必須。
- その② デイ2、ワークの食堂では、昼食の時間をずらし、間隔を空ける。
- その③ さをり工房では、織機の間にビニールシートの仕切り。
- その④ 利用者さんもマスクに挑戦！（でも、苦手な方も。）
- その⑤ 毎食後の歯磨き、口腔ケアでは、職員はフェイスシールド。
- その⑥ 施設の2つの玄関は自動ドアに。
- その⑦ 送迎車も、毎日消毒。
- その⑧ 来館者は検温、消毒、記録。
- その⑨ 懇談会は、短時間で。
など、など

「ほっこりんぐ」販売再開！

コロナ感染拡大防止のため、長らく中止されていた、長岡京市役所に設けられた、障がい者事業所製品の販売コーナー「ほっこりんぐ」が、7月、ようやく再開されました。コロナ対策ということで、代金受け取り用トレーの準備や消毒液、お客様との間にビニールシートの設置をして販売しました。

当日は「ほっこりんぐ販売してます！」という、市役所の館内放送を聞いて足を運んでくださる方が、たくさんおられました。

ビニール越しですが、「いらっしゃいませー！」とたくさんのお客様とのやりとりを楽しみました。久しぶりに市役所の方や地域の方との交流ができました。(デイ2通信より)

「七夕のつどい」

例年7月に、障害福祉センター1階の大きなホールで行っていましたが、

今年はコロナ禍の影響で中止することになりました。「つどい」は出来ませんでした。30人の利用者さんは、短冊に願いを書いて、玄関先の笹に飾り付けを行いました。(すこーし)七夕の雰囲気を感じ取ることができました。(デイ1通信より)



散髪ボランティアさん再開！

コロナ禍により実施を見合わせてきた「散髪ボランティアの日」でしたが、半年ぶりに再開していただけることになりました。

2 日間にわたり、地域美容師さんたち7人が来所。マスク姿で、消毒、換気に気をつけながら、大勢の利用者さんたちの散髪をしていただきました。



応援いっぱい、「花」いっぱい

コロナの影響を受けている障がい者施設の製品販売を応援しようと、生協西ブロックの皆さんからカタログ掲載のご協力をいただきました。2紙の新聞には製品紹介の記事が掲載されました。

長岡京市からは、エコバッグ（染め製品）の注文をいただくなど、応援をたくさんいただいています。

花栽培では、4月にインパチェンス、6月にはひまわりを完売。8月からは1ミリほどの小さなピオラの種 7000 粒を、ピンセットを使ってまきました。終えたときには「できたー！」とみんな笑顔。花が咲き始め、販売できる日まで大事に育てていきます。（デイ1、デイ2、ワーク）



クッキー工房（ワーク工房日記より）

催し物の自粛の煽りを受けて、注文のキャンセルが出たり、例年に比べると注文が少なく、大量の在庫を抱えるピンチもありました。しかし、その後、たくさんの方々のご協力もあり、また大口注文（900 個）もいただき、忙しくなりました。

7月より、外部の販売を順次再開しています。感染防止対策をしておのの販売になります。が、十分、気をつけて進めていきます。

さい工房

コロナ禍で出展先がなく、コロナが収束した時にすぐ出展できるように、布織りを進めたり、タグ付けなどの下準備をしていました。7月、今年も敬老祝い品の肩掛け160枚の注文をいただきました。納品まで忙しくなります。

<後援会加入・更新> (10 頁より) ぱんだ企画
菱田葉子 ビューティサロンナティ岩藤由美子
平井多津子 平野みどり 平野元子 平山功
昼神仁美 廣瀬彩子 広瀬美砂 福井太郎
福山八千代 藤松素子 藤本秀延 藤原啓子
ベーカリーセルフイーユ 細井創 細井雅代
細井のぞみ 堀医院堀直樹 本田よし子 前田
知臣 前田仁 榎井良子 増田尚 増田弘子
増田康夫 増田靖子 松井幸子 松居正利

有限会社街かどケアセンター 松浦佳織
松岡稔 岩倉美希 松島朱美 松永里子
松間卓 松村誠 松村昭子 松村美代子
松山幸次 松山雅子 真殿尊子 丸岡敏夫
丸岡正子 丸岡勇毅 三浦朱葉 三木孝子
三谷文菜 三田村啓子 三橋眞子 南ゆかり
三宅州人 宮嶋宏之 宮島均 宮島節代
宮島宏之 三柳美里 村上久代 村山容祥
森清 森下純平 森本達也 (4頁に続く)

ケアホームの生活



いろいろ、かざぐるま

2つのケアホームがあります。

いろいろは同一敷地内に4棟あり、入居者さんは27名。かざぐるまは民家に4名。毎朝、それぞれのホームから障害福祉センターあらかぐさなど日中活動の事業所に通所し、夕方ホームに帰ってきます。

生活支援員、世話人、宿直や夜勤職員、看護師さん、ヘルパーさんたち約70名が交代勤務でくらしを支えています。

感染防止のため

入居者さんも職員も体温チェックでスタートします。マスク、消毒、換気は必須です。

そして何より大事なことは、睡眠がとれているか、食べやすいおいしい食事が用意されているか、冷房の具合はどうか、ストレスをためていないかなどなど、体力、体調、気持ちをくずさないための日々の工夫と配慮です。

マスクや消毒液の

ご寄付 いただきました！



ありがとうございました。

「ソーシャルディスタンス」

というけれど、

食事介助、入浴介助、着替え、歯磨きやひげ剃りの介助、どれをとっても、支援は「密」を避けられません。

たくさんの職員が、利用者さんと接する毎日ですが、コロナを持ち込まないよう、感染しないようにと、日々奮闘中です。

生活の楽しみを忘れずに

時おり、実施していた外食は、今は見合わせています。そこで先日、いろいろでは感染防止対策をしっかりと、「すいか割り」など、ミニ行事を楽しみました。

こんな時こそ、工夫で楽しく・・・。



【ご寄付いただいた皆様】

京都乙訓ロータリークラブ様
(株)コスモビューティー様 辻工務店様
地域の商店様 洛西ボランティア友の会様
きょうされん京都支部様 長岡京市役所様
関係者の皆様

<後援会加入・更新> (3頁より) 守屋伸江 八木幸一 安井冽 安井 芳幸 (有)ヤスイカメラ 安田耕治 安田隆 安田弘 安武梢 安武真理 安松美佐子 山川洋子 山口計子 山口隆史 山口武彦 山崎諭 山下敏夫 山下紀子

山田陽子 山中繁 山中章二 山本史子 横川和男 横川喜美江 横川安子 横山和子 吉岡恭子 吉田治子 吉田美津恵 吉村龍二 療術院うえの上野徳太 若津友美子 渡辺祐子 匿名26名



無口になり心配

***土日**、ガイドヘルパーさんと電車を利用して、飛行場に行ったり、新幹線を見たりすることが大好きです。3月から5月中頃には交通機関を利用しての外出ができなくなり散歩とプールに切り替え、時間も短縮しました。電車が見える散歩コースという工夫もしましたが、食欲が落ち激やせしました。6月頃から電車が利用できるようになり、京都駅に行けるようになりました。食欲は回復してきましたが、でも、とても無口になり心配しています。(Oさん)

本人のストレス

***感染**する病気が流行するとすぐ体調を壊すので、父母で相談し、家庭において家族で介護すると決めました。しかし、家族だけでの介護には限界があるので、「あらぐさ」と相談して「人の出入りの少ない場所で決められた人だけの介護をしてもらう」ということになり、4週間後に通所を再開しました。でも、本人がストレスを感じ、手の甲にヘルペスを発症し痛がるので治るまでまた休みました。(Mさん)

医療との連携

***昨年**、済生会病院から桂病院へと長期の入院治療をすることになりました。普段は元気に「アットホームたんぽぽ」から「あらぐさ」に通所していたので親子共々大変な体験をしました。それ以来、「たんぽぽ」で在宅訪問医療を受けるようになりました。やはり、持つべきは主治医だと、切実に思います。主治医から専門の医療機関への連携など、一つ一つ医療体制をつくるのが、今、「新型コロナウイルス感染の不安」のあるこの時期、大切ですね。(Nさん)

平熱に戻ったが

***5月**の連休最後の夜に発熱し、連休明けには平熱に戻りましたが、父母で相談して5月いっぱい休ませることに決めました。休んでいる間、1日2回検温してほとんど家にいました。その間、「あらぐさ」からも「何かできることはないですか。」と、何度も心配していただきました。今から思えば、2週間位様子を見て、出席すればよかったのですが、その時は、「もし、コロナだったら他の人に移してはいけない」とばかり考えていました。6月からは、元気に通所しています。(Aさん)

マスクがつけられず

***これまで**は、月に2度、ガイドヘルプを利用していました。電車に乗ってイベント会場、カラオケ、ボーリングなど友だちと一緒に外出を楽しんでいました。「太鼓サークル」も月に2度あって、土日の生活は充実していました。ところが、新型コロナウイルスの感染問題が持ち上がり、生活がすっかり変わってしまいました。母はマスクを作り、何とか着けられるようにと頑張ってみたのですが、本人はマスクを着けることを嫌がるので電車には乗ることができません。「太鼓サークル」も再開できず、今は、一日中家にいます。これから8月に向けて、短時間の外出ができるよう事業所と相談しています。いつか、ヘルパーさんと外出する時に「マスク着けたら電車に乗れるよ。」と、本人に納得してもらえたらと願っています。(Iさん)



第9回「みんなおいでよ～あらぐさひろば」開催中止について

日頃より、あらぐさ後援会へのご支援・ご協力ありがとうございます。暑い夏の盛りも過ぎた頃、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。例年であれば、秋の恒例行事である「みんなおいでよ～あらぐさひろば」の開催に向けて準備を始める時期ですが、後援会役員会で検討した結果、京都府内の最近の状況も踏まえて、今年度については開催を中止することに決定いたしました。ステーション発表や模擬店の販売など、楽しみにされていた

た方々には大変申し訳ありませんが、感染症への抵抗力が弱い、障がい児者が多く集まる場であることや、会場では密な状況が避けられない為、予防策が徹底できないこと等から、責任をもって運営することは困難であると判断しましたので、ご理解いただくようお願い申し上げます。

なお「みんなおいでよ～あらぐさひろば」に代わる企画として「リモート」ひろばを以下のとおり計画しております。ふるってご参加ください。

<予告> コロナに負けるな！みんなおいでよ～あらぐさ「リモート」ひろばを開催します！

恒例の「福引き大会」を、あらぐさ通信の紙面を使って実施します。

参加対象となる方は、一昨年以降、後援会への入会・継続手続きがお済みの方、また、あらぐさ支援募金を頂いた方となりますので、その旨、ご了承ください。

企画の内容は、以下の2本を準備しています。

- ① 福引き抽選会 A賞 (10本) さをり織り製品
 B賞 (20本) 染め製品
 C賞 (30本) フェルト・ビーズ製品など



※応募方法の詳細につきましては次号でお知らせします。

- ② 次号の通信に、「障害福祉センターあらぐさ」自主製品の購入にお使いいただける補助券を同封いたします。「500円券」1枚を同封する予定です。 (事務局長・松村)

Bグループ

マーブリングはがき



製品紹介

マーブリングはがきは、Bグループの活動で作ったはがきを、Aグループが行っているマーブリング染めで模様をつけたものです。

今年度からラッピングも利用者さんと一緒に行っています。初めての活動に利用者さんも興味津々で、アイロンを当てたり、袋を止めるマスキングテープを選んで貼ったりと張り切って取り組んでおられます。

日々の活動での1枚

5月26日、Aグループのみなでひまわり（スマイルラッシュ）の種まきをしました。



指先でギュッと土の感触を楽しみながら、種を植えています。山中さんは土の感触が心地よかったのか何度も土を押して楽しまれていました。好きな感触にはいつも手を握りこむ様に動かして笑顔がみられます。

かわいいひまわりが育ちますようにと願いを込めながら植えました。



コロナウイルスの感染が広がるにつれ、外出することが難しくなり、屋内での活動が多くなりましたが、屋内でも楽しめる活動を日々考えながら、皆で取り組んでいます。

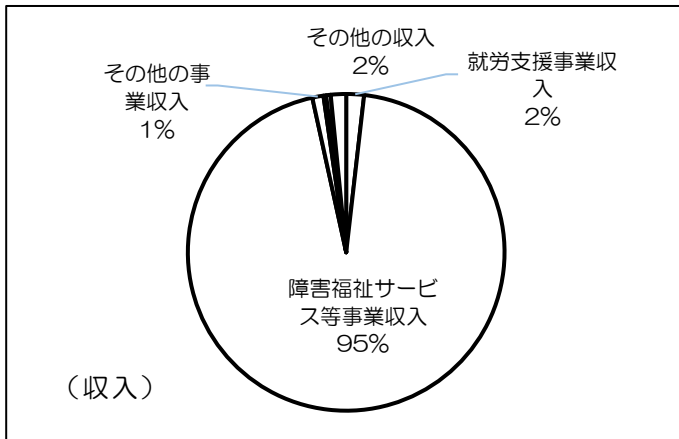
マーブリング染めによる、ひとつひとつの色合いや模様を楽しんでいただければと思います。

マーブリングはがき（1枚入り） ￥100



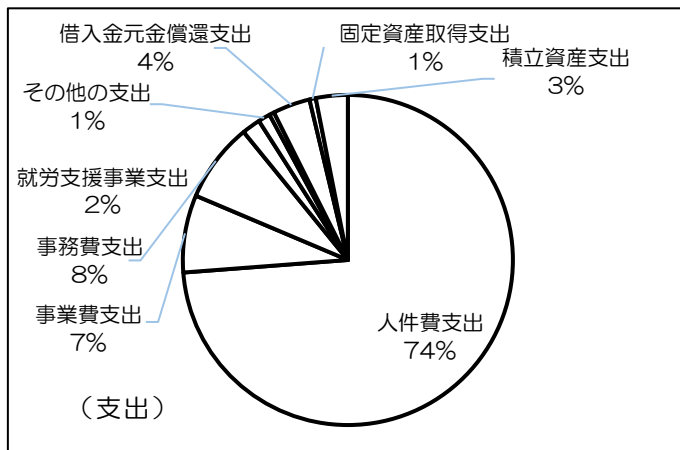


令和元年度 社会福祉法人あらぐさ福祉会 財務状況



(収入)

障害福祉サービス収入
 …障害福祉サービスに対する
 国、地方公共団体からの介護
 給付費



(支出)

人件費支出
 …常勤職員 50 人 非常勤職
 員 80 人
 事業費
 …主に利用者の活動に関わる
 支出
 事務費
 …運営事務に要する支出
 借入金元金償還支出
 …建物・土地の借入金返済

(令和元年度の特徴)

今年度の決算は総収入、総支出ともに4億2200万円でした。

事業活動収入で見ると、障害福祉サービス等事業収入が3億9800万円となり、前年度より微増しました。これは利用者の増員や新たな加算（特定処遇改善加算）によるものです。

支出の部では、人件費が74%と大部分を占めています。また設備資金借入金元金償還支出としてあらぐさ新館の借入金返済分が増額され、総支出の4%になっています。

財務諸表についてはあらぐさホームページに公開しています。

<http://www.aragusa-fukushi.jp/>

障害福祉センターあらぐさ 職員

廣瀬 愛 さん

(ひろせ めぐみ)



4月からAグループに所属しています廣瀬 愛 (ひろせ めぐみ) です。

私は3月まで大学で障害者福祉について学んでいました。私が障害者福祉に興味を持ったきっかけは、重度の知的障害を持つ妹がいることでした。大学の進路を決める際、私は将来の夢が見つからずにいましたが、これまでの人生を振り返り、自分の強みになると思ったことが家族に障害者がいること、障害者との関わりが多いことだと思いました。

幼い頃から妹と過ごす中で、障害を持つ人の生きづらさや親の大変さを感じることもあり、そういった障害者やそのご家族を少しでも支えていける力になりたいと思い、福祉の道に進みたいと考えるようになりました。

あらぐさとは、就職活動をしていた際、福祉施設の合同説明会で出会いました。実際に施設見学に訪れ、利用者さん一人一人が自分の持つ力を発

揮できる活動をして生き生きと過ごされている姿や、職員の皆さんがとても明るく楽しそうな姿を見て、あらぐさで働きたいと思いました。

私はこれまで知的障害者との関わりが多く、Aグループの利用者さんのような重症心身障害者の方とは初めて関わるということもあり、初めは不安も大きかったのですが、働き始めて約半年が経ち、利用者さんとの関係も少しずつ築けてきているように感じています。Aグループの方は言葉で自分の気持ちを伝えることが難しい分、職員の声かけや好きなことには全力で体を動かしたり、口を開けたり声を出すなど、一人一人が自分なりに反応してくださり、毎日利用者さんと関わることに楽しさを感じています。

まだ分からないことも多く、周囲の職員さんに助けて頂きながらですが、これからあらぐさで多くの事を学び成長していきたいと思っています。よろしく願い致します。



あらぐさ後援会 加入・募金 ありがとうございました

(2020年4月1日～8月15日 敬称略 順不同)

T&T 美容室鳥居敏江 赤井綾子 赤城博子
秋山喜美江 浅野晃生 芦田航 天野正作 天野
正弘 天野さきみ 荒木満 粟田士郎 粟田紀江
阿波谷陽子 栗野亜希子 井垣優 生路智子
池田芳子 井古テル子 石堂宏宜 石野拓 石野
洋子 石原洋子 五十棲福男 伊丹路恵 一谷孝
伊地知洋晃 伊地知有華 一箭浩志 伊藤和雄
伊藤勝久 伊藤五郎 伊藤卓次 伊藤弘紀 稲葉
薫 因幡広和 井上吉郎 井上世津子 井上敏子
今井和子 今西さよ子 医療法人社団くぼた医院
医療法人社団松本クリニック松本恒司 岩崎英雄
岩崎泰子 上田和美 植田進 上野志保子 大石
ゆかり 大江恵子 大久保秀平 大城まゆみ
太田政喜 大谷智子 大槻裕治 大坪晴美 大橋
雅人 大橋祐子 大林雅子 小川直 小川貴士
小川真寿美 荻野和雄 奥田保 小谷勝利 乙訓
医療生活協同組合 特定非営利活動法人乙訓介護
サービス 乙訓地区労働組合協議会 小野留美子
垣内望美 片山雅代 勝良和子 桂誠司 桂典子
門野陽子 金森たえ子 金子美智子 狩野直禎
鎌田桂子 亀川義昭 河合隆平 川岡純子 川口
淳子 河村雅之 神田千秋 菊井誠 木田聡
木村栄美子 木村忠 木村まき子 木村嘉男
京豆富にがりや株式会社 金原道雄 久保節子
窪島敏子 倉橋克之 黒木サキ子 小池良一
小松仁美 近藤健二 斉藤哲雄 斉藤泰樹

崔本鐘光 佐伯敏子 坂下三良 坂下佳子
坂本憲哉 坂本靖子 株式会社坂本建設 桜田
吉昭 佐々木成子 佐野顕治 澤月子 塩尻
光明 志賀妙子 篠原茂 柴田和泉 下尾医院
下尾和敏 白石直子 白波瀬恵子 杉谷伸夫
鈴木純子 角誠一 角摂子 住田初恵 瀬川
良介 関節子 節田もと 専修院福本哲了
田上玲子 鷹野安子 高橋謙二 高橋祐子
高橋光子 竹澤哲夫 竹下久美 竹下誠 武永
健二 立山純治 田中栄治 田中正恭 田中
洋子 谷口 忠行 谷口弘子 田沼立也 玉木
洋子 俵福造 丹野かほる 塚上公治 辻
真菜美 津田拓也 津田みさ子 寺岡敬博
寺家義人 天照教 都出祀子 東宮靖武 時田
麻里 富島ますみ 富永洋子 内藤時子 内藤
秀春 内藤敬子 内藤基雄 中川耕二 中川
美智子 永崎みさと 永崎靖彦 中路克介
中島悠太 長島里香 中西郁子 司法書士中西
正人 中野修 中野智恵 中野円 中野史子
中野司 中村隆雄 中村文子 中村マサエ
中本式子 中山恵美子 中山千恵子 夏川久子
仁木宏 西幹男 西井美千代 西田政子 西村
栄治 西村宗昭 西山俊太郎 橋本さつき
長谷川朋子 長谷川長昭 波多由紀子 畠中
清子 畠中勇治 八田萬喜 浜野紘久 林英夫
原木とし子 春田石油有限公司 (3頁に続く)

2020年度 後援会費納入とあらぐさ支援募金をお願いします

・同封の振込用紙をご利用ください。入金と行き違いになりました際はご容赦ください。



1992年6月5日 第3種郵便物承認 (毎月1回25日発行) 2020年9月23日発行
KTK増刊号巻第5045号 発行所 京都障害者団体定期刊行物協会
〒602-8144 京都市上京区丸太町通黒門東入藁屋町536-1 元待賢小学校1階
京都障がい連内 発行人 高谷修 頒価50円 (購読料は会費に含まれています)

KTK

あらぐさ通信